



# よこはま



URL <http://www.mod.go.jp/rdb/s-kanto/>



1月23日、神奈川県相模原市の総合体育館において、日米児童等によるスポーツや文化活動などの交流の場として「日米交流剣道ふれあい道場」を開催しました。（3ページ参照）

## ◇目次◇

- |                             |                     |
|-----------------------------|---------------------|
| 1 局長 あいさつ                   | 6 平成23年度防衛省職員採用試験情報 |
| 2 日米交流剣道ふれあい道場の開催           | 7 こんにちは！浜松防衛事務所です   |
| 3 キャンプ富士司令官インタビュー           | 8 新成人の紹介            |
| 4 第24回航空事故等連絡協議会<br>年次総会の開催 | 9 自衛隊静岡地方協力本部の紹介    |
| 5 南関東防衛施設地方審議会 の開催          | 10 関係自治体だより         |

編集企画：南関東防衛局 広報紙「よこはま」編集委員会

発行：南関東防衛局 総務部報道室 TEL 045-211-7129

〒231-0003 横浜市中区北仲通5-57 横浜第二合同庁舎

# 1. 局長 あいさつ



南関東防衛局長  
深山 延暁  
(みやま のぶあき)

厳しい寒さで幕を開けた平成23年ですが2月になって春の光が感じられるようになってきました。読者の皆様もよい春をお迎えのことと思います。平成23年最初の「よこはま」をお届けいたします。

今年も南関東防衛局は、いわゆる「基地対策」を積極的に進め、防衛施設を抱える自治体の発展に寄与していきたいと思っています。また、その際には、貴重な防衛予算を有効に活用するため、自治体の皆様のお知恵を借りつつ、一層「役に立つ」予算執行に努めて参ります。

一方、防衛政策についての理解を深めていただくべく、防衛セミナーを始め各種の事業を積極的に行っていきたいと思っています。今年最初の防衛セミナーを来たる3月11日(金)に横須賀芸術劇場で開催いたします。どうぞご来場下さい。

私達は、今述べたような事業の前提として、ありのままの米軍や自衛隊の姿を出来るだけ多くの方に知っていただくことが重要だと考えております。「よこはま」では管内の米軍の司令官や主要幹部のインタビューを連載しています。また、本号には1月23日(日)に行われた「日米交流剣道ふれあい道場」についての記事を掲載しております。

このようなインタビュー、交流事業の企画はこれからも続け、米軍の実情、本音が少しでも読者の皆様に伝わるように、また、住民の方々と米軍・自衛隊の交流が進むように努めたいと思っています。

昨年12月に、今後約10年の防衛政策の方向性を明らかにした新しい「防衛計画の大綱」と「中期防衛力整備計画」が決定されました。また、昨年の「日米安保50周年」を終え、今年は51年目の新たなスタートの年です。私たち南関東防衛局もこのような区切りの年にあたり、一層身を引き締めて業務を進めていきたいと考えています。

今年もどうぞ宜しくお願いいたします。

## 第16回防衛問題セミナーのご案内

### 「日本の安全保障」について考えてみませんか

開催日時：3月11日(金) 午後4時30分開演  
開催場所：横須賀芸術劇場 (ヨコスカ・ベイサイド・ポケット)  
・・・京急汐入駅前

今回のセミナーは、「新たな防衛計画の大綱」について、皆様の一層のご理解をいただくため開催するものです。セミナーへの参加は無料です。多数の参加をお待ちしております。

お問合せ先：防衛省南関東防衛局 企画部 地方調整課  
(横浜市中区北仲通5-57) 電話045-211-7134

第16回 防衛問題セミナー

「日本の安全保障」について考えてみませんか

第1部：(講演) 22防衛大綱 防衛自 防衛政策局長 浜江 昌博  
女性パネリストによるパネルディスカッション

第2部：(講演) 日本の海上防衛 海上自衛隊 幹部学校長 吉田 正紀  
日米防衛省関係者によるパネルディスカッション

新たな「防衛計画の大綱」が決まりました

■開催日：平成23年3月11日(金)  
16:00開演 終了20:30  
(第1部)16:30～ (第2部)18:30～

■場 所：横須賀芸術劇場 (ヨコスカ・ベイサイド・ポケット)

■アクセス：公共交通で 汐入駅より徒歩1分  
会場周辺は駐車場が限られています。公共交通機関をご利用ください。

■参加の申込みは必要ありません。当日受付です。(定員200名)

主催：(公財)防衛問題研究会  
防衛省 南関東防衛局 企画部 地方調整課  
横浜市中区北仲通5-57  
電話045-211-7134

## 2. 日米交流剣道ふれあい道場の開催

平成23年1月23日（日）、相模原市総合体育館中体育室において、南関東防衛局主催による「日米交流剣道ふれあい道場」を開催しました。

開催に当たり、相模原市剣道連盟、陸上自衛隊第4施設群の協力を頂き、在日米陸軍相模原住宅地区内にあるジョン・O・アーン小学校の児童、保護者等と相模原市内の小・中学校の児童等、約180名が参加し、剣道を通じて日米交流事業を実施しました。



日本剣道形の披露

日米交流事業は、在日米軍施設周辺住民の方々とは在日米軍人等との相互理解を深めることが重要であるとの観点から、スポーツや文化活動を通じて、周辺住民と米軍人やその家族との交流（コミュニケーション）のための施策を実施しているものであり、南関東防衛局では平成20年度から実施しており、今回で3回目です。

今回は、相模原市剣道連盟から日本剣道形、木刀による剣道基本技稽古法、面を着けての切り返し、打ち込み稽古が披露され、また、陸上自衛隊第4施設群の隊員による銃剣道が披露されました。



日本側児童等による稽古を披露

その後、日米の参加者は、全員が手ぬぐいを鉢巻きにし、すり足の練習や、グループに分かれての剣道防具着用、木刀による紙風船割り、新聞切りを体験するなど、日本の伝統文化である剣道を通じて、日米の交流を深めました。

アーン小学校のスーモリン校長先生からは、「次は、いつ、どんなことをやるのか楽しみにしている。」旨の発言があり、次回も期待どおり開催できるよう、計画・準備を進める考えです。



自衛隊員による銃剣道の披露



すり足の稽古



交流風景

### 3. キャンプ富士司令官インタビュー

当局管内には、多数の米軍施設がありますが、地元の方々が在日米軍の考えを知る機会がありません。

そこで、今回は、静岡県御殿場市に所在している米海兵隊キャンプ富士の司令官グレイグ S. コゼニスキー大佐にインタビューしました。



キャンプ富士入り口付近



コゼニスキー司令官

**Q：米海兵隊キャンプ富士の任務について教えてください。**

キャンプ富士の主な任務は、沖縄に駐留している第3海兵遠征軍及び日本本土に駐留している在日米軍の部隊などが東富士演習場や北富士演習場に訓練に訪れた際、支援することです。

**Q：地元自治体や、地元住民との交流について、今までどのような取り組みを行ってきましたか。また、今後はどのような取り組みを行いたいと考えていますか。**

地元の警察及び消防とは、緊急時には、互いに対応及び支援できるように相互援助協定を取り交わしています。

また、キャンプ富士及び東富士演習場には民公有地が所在し、多くの土地所有者等の理解の下に設置されていることから、それらの人たちと緊密な関係を持っています。

地域との交流に関しては、海兵隊員は月に一度くらいの割合で地元の学校や養護施設を訪れ、ボランティア活動をしています。

また、クリスマスやハロウィン等には、キャンプ富士に養護施設の子供たちを招待し、楽しい一時を過ごしています。

地域交流を目的に毎年、キャンプ富士では、「富士フレンドシップ・フェスティバル」を開催しています。昨年は約7,000人が来場し、とても盛況でした。これからも続けて行こうと考えています。

**Q：陸上自衛隊とはどのような協力関係を築いていますか。**

富士学校や、滝ヶ原、板妻、駒門及び北富士の各駐屯地と良い関係にあります。各駐屯地とは、語学交流や格闘技などのスポーツ交流を頻繁に行っています。

Q：司令官として、いつも心掛けていることについて教えてください。

キャンプ富士に配属されている海兵隊員に話している3つの基本的なことがあります。

第1は、「自分の職務を知る」ことです。キャンプ富士は、職務を知るには良い場所です。これは、隊員は単身で赴任し、職務に集中することができるからです。



コゼニスキー司令官と南関東防衛局 一條係長

第2は、「戦闘のために周到な準備をする」ということです。私たち海兵隊員には、戦闘に関する高い基準があるため、肉体的及び精神的にも即応性がなくてはならず、また、タフでなくてはなりません。肉体面及び精神面を強化することは共に重要なものです。

第3は、「良い米国大使になる」ことです。これは、週末の自由外出日に東京へ出かけるだけでなく、日常的に出かける、御殿場市内、レストラン、ボーリング、ゴルフ、水泳、ハイキングなども含めてのことです。

以上の3つの事を強く伝えています。また、これは、短期間キャンプ富士に滞在する訓練部隊にも同様に強調して言っています。

Q：キャンプ富士に来て半年たちましたが、日本での暮らしの感想をお聞かせ下さい。

残念なことに6ヶ月は慌ただしく過ぎてしまいましたが、地元の人たちと積極的に交流し、多くの日本の習慣を学び、結果としてここでの勤務は楽しめるものになりました。

新年の「どんど焼き」を含め、多くの地元行事にも参加し、「どんど焼き」をなぜ行うのかについても学びました。

また、仕事及び娯楽の両方に当てはまるものですが、アウトドアで過ごすのが好きです。これは、私が、山が多い米本国南西部の出身であるからではないかと思えます。富士山には3度登りましたし、スキーにもよく行きます。また、富士山周辺でのハイキングや地元でのゴルフも楽しんでいます。



左より、齊藤富士防衛事務所長、杉山司令官付秘書  
コゼニスキー司令官、南関東防衛局 一條係長、  
濱崎報道官

Q：日本のみなさんへメッセージをお願いします。

2010年には、日米安全保障条約の50周年を祝いました。我々の特別な友好は強くなったと考えています。緊密な友好関係を維持することが重要であり、より強固なものにしていくことがキャンプ富士の責務と考えています。

## 4. 第24回航空事故等連絡協議会年次総会の開催

1月27日（木）第24回航空事故等連絡協議会年次総会が、南関東防衛局において開催されました。



会議には、22関係機関から約80名が出席し、当局の清水管理部長の挨拶の後、本田業務課長が前回の年次総会以降に発生した航空事故等に伴う通報手続きの事例等について報告、続いて横須賀市市民安全部の小貫危機管理課長から、「日米合同原子力防災訓練について」と題し、情報共有化訓練に焦点を当て、災害対応に最も重要となる初動対応の情報共有の重要性等について講演が行われました。



挨拶する清水管理部長



横須賀市市民安全部 小貫危機管理課長の講演の様子



在日米海軍ショー危機管理対策官からの発言の様子

## 5. 南関東防衛施設地方審議会の開催

1月17日（月）、平成22年度南関東防衛施設地方審議会が、横浜市内のホテルにおいて開催されました。

当日の審議会においては、会長の選出が行われ、石井 清氏（神奈川農協中央会会長）が新たに会長に選出されました。また当局から、

- (1) 厚木飛行場周辺地区防衛省行政財産の管理について
- (2) 南関東防衛局管内における米軍による事件・事故について業務紹介を行いました。

審議会終了後、審議会委員は、海自厚木航空基地に赴き、ヘリコプターに搭乗し、上空から基地周辺を視察し、当日の日程を終了しました。



ヘリコプター搭乗による視察



新会長に選出された石井氏

## 6. 平成23年度防衛省職員採用試験情報

### 防衛省職員採用Ⅰ種試験 (研究職)

- ・試験区分：心理、化学、生物、電子、機械、造船、航空
- ・採用予定者数：各試験区分別（電子：約5名、他の区分についてはそれぞれ若干名）
- ・採用予定機関：航空自衛隊、情報本部、技術研究本部
- ・配布開始日：H23. 2. 18(金)
- ・受付期間：H23. 4. 1(金)～H23. 4. 11(月)
- ・第1次試験日：H23. 5. 8(日)
- ・第1次試験地：東京都ほか地方都市

### 防衛省職員採用Ⅱ種試験 (事務職) (技術職)

- ・試験区分：行政、語学(英語、中国語)、国際関係(英語、ロシア語、中国語)、数学、電気・電子、機械、土木、建築
- ・採用予定者数：各試験区分別（行政：約70名、語学(英語)：約10名、国際関係(英語)：約5名、数学：約5名、電気・電子：約25名、機械：約10名、土木：約5名、建築：約10名、他の区分についてはそれぞれ若干名）
- ・採用予定機関：内部部局、防衛大学校、陸上・海上・航空自衛隊、情報本部、技術研究本部、装備施設本部、地方防衛局
- ・配布開始日：H23. 2. 18(金)
- ・受付期間：H23. 4. 1(金)～H23. 4. 11(月)
- ・第1次試験日：H23. 6. 12(日)
- ・第1次試験地：東京都ほか地方都市

### 防衛省職員採用Ⅲ種試験 (事務職) (技術職)

- ・試験区分：一般事務、電気、機械、土木、建築
- ・採用予定者数：各試験区分別（未定(決定次第公表)）
- ・配布開始日：H23. 5. 16(月)
- ・受付期間：H23. 7. 1(金)～H23. 7. 19(火)
- ・第1次試験日：H23. 9. 25(日)
- ・第1次試験地：東京都、横浜市ほか地方都市

### ☆2011パンフレット☆

防衛省職員(特別職)として勤務する事務官・技官を紹介したパンフレットを作成し、防衛省の各機関等で配布しています。



細部(受験資格、業務説明会案内等)については、

**「防衛省ホームページ」の「採用情報」**  
で紹介しています。

<http://www.mod.go.jp/>

防衛省

検索

※「防衛省」で検索してみてください

問い合わせ先：南関東防衛局総務部総務課人事係  
TEL 045-211-7133

## 7. こんにちは！ 浜松事務所です。

浜松防衛事務所管内の自衛隊施設の一つ航空自衛隊浜松基地で1月6日（木）、同基地内隊員食堂において「新春交歓会」が開催され2011年がスタートしました。

会場には地元選出の国会議員、浜松市長はじめ周辺首長など約500名が参加し交流、親睦を深めました。

浜松基地等主催の行事は年4回あり、4月「観桜会」、7月「納涼の夕べ」、そして10月に一般開放しての航空祭「エア・フェスタ浜松」が盛大に開催されます。なかでも昨年10月17日（日）のエア・フェスタ浜松2010には、地元市民はもとより全国から熱烈な航空ファンが訪れ、浜松基地で創設され50周年を迎えたブルー・インパルスの華麗な飛行に久々に魅了されたようです。総来場者は約12万人（主催者発表）を記録しました。

これは毎年5月の連休に開催される凧揚げ合戦・御殿屋台の引き回しで全国に名高い同市の「浜松祭」に次ぐ人気イベントとして地元ですっかり定着しています。

（写真は航空自衛隊浜松基地提供）



新春交歓会



観桜会



納涼の夕べ



エア・フェスタ浜松



浜松祭り

## 8. 新成人の紹介

南関東防衛局において、新成人となりました2名の職員をご紹介します。



屋宜事務官

### 企画部住宅防音課 屋宜事務官

みなさんこんにちは。住宅防音課の屋宜です。今年は成人という人生で大きな節目を迎えることができ、大変嬉しく思っております。気持ち切り替え、業務に励もうと思いますので、暖かい支えを宜しくお願いします。

### 企画部住宅防音課 永野事務官

今年成人となった住宅防音課の永野です。働き始めてはやくも約2年が経過し、今年は3年目の年となります。成人になったということをきっかけに、今後はより一層、日々の業務に取り組んでいきたいと思っております。



永野事務官



## 9. 「自衛隊静岡地方協力本部」の紹介



静岡地本マスコットキャラクター  
「しずぼん」(陸・海・空Ver.)



ラジオ収録に臨む本部長

自衛隊静岡地方協力本部（略して静岡地本）は、静岡市葵区柚木に本部を設置し、県下10ヶ所の出先事務所と富士地域援護センターを配置しております。

静岡県下における防衛省・自衛隊の総合窓口として、自衛官の募集、隊員の再就職援護、各種広報等の任務を担任し、本部長の要望事項「前進」をスローガンに、部員一同日々業務に邁進しています。

### 【本部長の紹介】

階級：1等空佐

氏名：柏瀬 静雄 (かしわせ しずお)

出身：群馬県

前配置：航空幕僚監部(市ヶ谷駐屯地)

現配置：H21.12.1～



装備品展示  
(タミヤフェア)



本部長と部員一同



小学校の「総合的学習の時間」を活用した活動



合同企業説明会  
(滝ヶ原駐屯地)



採用試験の実施



予備自衛官訓練風景

### 【問い合わせ先】

住所 〒420-0821 静岡市葵区柚木366

電話 054-261-3151,3152 (FAX 3153)

URL <http://www.mod.go.jp/pc/sizuoka/>

静岡地本

検索

## 10. 関係自治体だより 山中湖村

山中湖村は、山梨県の東南端の富士山の麓、静岡県、神奈川県との県境に位置し、東京の都心から、100km圏内に位置しています。

山中湖村のほぼ中央に、文字通り山中湖があり、富士五湖の中でも最大です。水深15m、海拔982mと日本で第3位の高所にあります。湖の西側には、世界文化遺産暫定リストにも登録されている「富士山」がそびえ、村内各所から雄大な富士山を眺めることができるような地形となっています。

山中湖村は高地に所在するため、真夏でも最高気温が30度を超えることはまれで、夏の平均気温は20度前後と過ごしやすく、早くから高原の避暑地として開けました。観光客は春から秋にかけて、特に夏休みに集中し、年間約500万人もの観光客が山中湖を訪れています。このようなことから、山中湖村の基幹産業は、第3次産業で、サービス業を主として、2,152世帯、5,879人（平成22年12月1日現在）の村民が生活しています。

山中湖村の南西側に位置する富士山の北麓には、陸上自衛隊北富士演習場があり、面積は、約4.6km<sup>2</sup>です。同演習場を含む富士山北麓地域は、徳川時代から地元住民が「入会地」として、そだ、下草などを採取し生活の糧を得ていました。

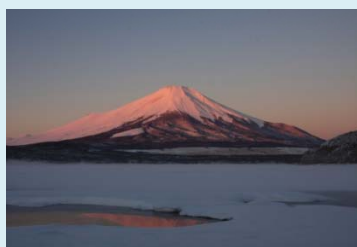
北富士演習場は旧陸軍により開設されましたが、その後、米軍による接收を経て、昭和48年に陸上自衛隊が管理する演習場になりました。また、同年、演習場の使用と周辺地域発展とを両立させるため、国と使用協定を締結し、現在は第8次使用協定の期間中となっています。

今後とも南関東防衛局には、演習場を抱える自治体の課題、更に地元住民の不安解消に従来と同様、きめ細かい取り組みを期待しております。

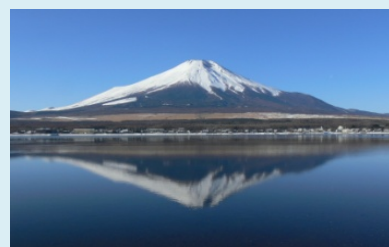
山梨県山中湖村企画課



ダイヤモンド富士(冬)



紅富士(冬)



逆さ富士(冬)



山中湖と富士と夕焼け



山中湖村「花の都公園」からの富士山(春)



夏の富士山



赤富士(夏)



秋の富士山